



【長崎大学海洋未来イノベーション機構
山本郁夫教授(水中ロボット技術)】



【長崎大学海洋未来イノベーション機構
河邊玲教授(バイオリギング技術)】

長崎大学水産学部附属練習船「長崎丸」

第51回 海洋教育フォーラム

海を調べる技術： 海を知って、未来を考えよう

■日時■

平成30年

12/16



セミナー：13時～15時

見学A：15時10分～16時10分

見学B：16時～17時

■会場■

①セミナー
長崎大学
文教キャンパス

総合教育研究棟2階
多目的ホール (長崎市文教町1-14)

②見学A / 同総合教育研究棟12階
見学B / 長崎大学環東シナ海環境資源研究
センター前 岸壁 (長崎市多以良町1551-7)
長崎大学水産学部附属練習船「長崎丸」(H30年3月竣工)

会場案内図



■問合せ先：

長崎大学研究国際部学術推進課 ☎ 095-819-2039 FAX 095-819-2040

Eメール：gakusomu@ml.nagasaki-u.ac.jp

■主催：日本船舶海洋工学会 海洋教育推進委員会

■共催：長崎大学海洋未来イノベーション機構、長崎総合科学大学海洋エネルギー研究センター

■後援：長崎県、長崎県教育庁、長崎海洋産業クラスター推進協議会

申し込み方法

こちらのQRコード

または長崎大学HPより



「海を調べる技術： 海を知って、 未来を考えよう」

長崎県の海岸線の長さは、どれくらいあるか皆さんご存知ですか。

4,182kmです。日本には47の都道府県がありますが、4,000kmを超えるのは、長崎県と北海道だけです。

北海道は陸の面積では長崎県の20倍ですが、海に関しては、長崎県も負けていません。長崎県の島の数は971で全国一、漁港の数も286で全国一です。

長崎県は、海に目を向けると、とても大きくて、広がりのある海洋県・水産県なのです。

でも、その海には、実は、まだまだよくわからないことがたくさんあります。宇宙空間では使える電波が海中では使えません。大容量の通信手段も海の中ではなかなか使えません。

月の表面の地形は、誤差10メートル程度の解像度で把握されており、火星でも約100メートルの解像度なのだそうです。地球の深海については、1,000メートル前後の粗い解像度でしかわかっていないようです。

今回のフォーラムでは、長崎大学に新たに配備された“国際洋上キャンパス”練習船「長崎丸」や、水中ロボット、バイオリギングなど海を調べる技術について学び、私たちの目の前に広がる海を知ることで、「海」をどのように未来に活かしていくか、皆で考えたいと思います。

講演の後は、水中ロボットや「長崎丸」の見学も予定しています。

皆さん、是非ご参加ください。

プログラム

13:00 主催団体挨拶
日本船舶海洋工学会 海洋教育推進委員会
田代 省三 (副委員長)
進行：森田 孝明 (長崎地区実行委員長・長崎大学海洋未来イノベーション機構 機構長特別補佐)

13:15 講演1 国際洋上キャンパス「長崎丸」(20分)
～船が調べる海の中“東シナ海を調べる”～
武田 重信 (長崎大学海洋未来イノベーション機構 機構長)

13:35 講演2 水中ロボット (20分)
～ロボットが調べる海の中“海底を調べる”～
山本 郁夫 (長崎大学海洋未来イノベーション機構 教授)

(休憩10分)

14:05 講演3 バイオリギング (30分)
～生き物が調べる海の中“生き物自身が調べる”～
河邊 玲 (長崎大学海洋未来イノベーション機構 教授)

自由討議 (30分)

15:10 見学：Aグループ ロボット見学 (総合教育研究棟12階に移動)
解説：山本郁夫教授及び同研究室

見学：Bグループ 長崎丸見学 (新長崎漁港 長崎丸迄移動)
解説：長崎丸船長・教授 森井康宏
長崎総合科学大学 准教授 松岡和彦

16:10 Aグループ ロボット見学終了・解散

16:00 Bグループ 長崎丸見学開始

17:00 長崎丸見学終了

18:00 ⇒ 戻りバス(長崎大学、長崎駅)

長崎駅解散 予定

ご参加いただいた高校には、後日、学校の方に、教育教材「海洋へのいざない」を贈呈させていただきます。



<見学コースのご案内> 今回のフォーラムでは、講演の後、2つの見学コースを用意いたしました。

見学 A コース
水中ロボット開発見学
(長崎大学文教キャンパス)

15:10～
16:10



見学 B コース
練習船「長崎丸」見学
(新長崎漁港・長崎市多以良町)

16:00～
17:00

定員
40
名



長崎大学から「長崎丸」が接岸している新長崎漁港(長崎市多以良町)までは、長崎大学から送迎バスが出ます。

見学Bコースの帰りのバスは、17時出発予定。「長崎丸」出発→長崎大学(途中下車可)→長崎駅(解散)

フォーラムの講演会ご参加の方は、A・Bいずれかの見学コースをお選びの上、お申込みください。
お申込みは、表面のQRコードまたは長崎大学HPから。

■お問い合わせ

長崎大学 研究国際部 学術推進課

TEL:095-819-2039 FAX:095-819-2040

Eメール：gakusomu@ml.nagasaki-u.ac.jp